

飲食しながら子育て相談

子育て中の母親が笑顔でわが子と向き合える社会を目指すNPO法人「江東豊洲 子育て&母乳育児を支援する会」(KOTOCLO、東京都江東区)が、悩み相談や飲食ができる「子育て総合施設」を都内に計画している。

KOTOCLOは2015年、昭和大江東豊洲病院の医局内に設立された。理事には医師や会社社長、政治家、弁護士、助産師などが就いた。母親たちに対し、子どもの服薬やワクチン接

種に関する知識、母乳育児の考え方など子育てを巡る情報を提供したり、英語を使った親子の遊び方を教えたり―写真―してきた。

計画中の子育て総合施設は保育所と母親向けのカフェ、ワーキングスペースから成る。カフェは2階に設け、女性が食事のついでに雑談や相談ができる。保育士や看護師らの常駐も想定。3階は職業をもつ母親が仕事のミーティングなどをする場所に充てる。

KOTOCLO代表理事の水野克己・同病院小児内科教授は「昔は育児をムラ(地域)でやる文化があり、母親の孤立を防いでいた。施設はそうしたムラを再現するもので、悩める母親たちが追いつめられない社会作りにつなげたい」と話す。問い合わせはホームページ <http://www.kotoclo.com/contact>から。

【鳴海崇】

